

福岡市英語チャレンジテスト分析

福岡市教育委員会の新しい施策として「福岡市らしい英語教育の推進」が打ち出された。福岡市の目指す英語力を、中学3年生で英検3級程度以上が50パーセント以上を継続することと定め、英語チャレンジテストが実施されている。本校のテスト結果は下表の通りである。

<英検相当レベル別割合>

3年生	英検相当 レベル	3級以上相当 レベル	4級相当 レベル	5級相当 レベル	5級受検相当 レベル
	福岡市	66.2%	22.8%	10.6%	0.4%
本校	68.8%	20.4%	10.1%	0.0%	

2年生	英検相当 レベル	4級相当 レベル	5級相当 レベル	5級受検相当 レベル
	福岡市	55.5%	39.3%	5.3%
本校	39.7%	54.4%	5.9%	

<コメント>

- ・2年生については、4級以上相当の得点をした生徒が福岡市の割合をかなり下回っている。授業での表現活動や朝学習、宿題で基礎基本の定着を図っており、生徒はよく取り組んでいるが、総合的な力が定着しておらず、特に読解力が不十分である。
- ・3年生については、70%近くの生徒が3級以上相当と判断された。1年時からスペリングコンテストを実施したり、福岡市中学生英語スピーチコンテストへ向けて全員参加の校内予選を行ったりと、目標をもって学習に取り組むことができた成果だと思われる。朝学習や宿題で、基礎基本の反復学習に何度も取り組んできた成果が、語彙・文法の分野の正答率に出ている。

<2年生分野別正答率>

	語彙	読解	リスニング
本校	81.2%	75.6%	79.0%
福岡市	76.1%	67.2%	75.6%

<3年生分野別正答率>

	語彙	読解	リスニング
本校	86.0%	76.2%	80.4%
福岡市	86.5%	75.6%	79.0%

2年生においては、語彙や基礎基本の文法を繰り返し練習させ、定着を図る必要がある。また、一定量の英文を読解する練習に継続的に取り組ませていきたい。

3年生は、語彙・熟語・文法などの基礎的知識を背景に、課題に対して答えを導き出すことは得意である。ただし、一定量の英文を読んで、問題を解くようなテストが非常に苦手であり、読解力を養うような問題を解く練習をしていきたいと考える。